

2025 年 社友会会報 新年ご挨拶



シャープ株式会社 社長兼 CEO 沖津

社友会の皆様、新年明けましておめでとうございます。シャープ株式会社社長兼 CEO の沖津でございます。日頃より当社の事業活動に温かいご支援とご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年 2024 年は、日経平均株価が約 34 年ぶりに史上最高値を更新し、一時は 4 万円の台に達するなど、日本経済に新たな成長の兆しが見えた年となりました。また、国際社会では「選挙イヤー」とも言える年であり、アメリカ大統領選挙をはじめとする各国での重要な選挙が実施され、今後、新たな政治的転換期を迎える可能性が注目されています。

一方、技術開発の面でも、生成 AI の普及により、企業や個人の働き方やクリエイティブな活動が大きく変化する中、宇宙開発にも目覚ましい進展がありました。特に、JAXA の無人探査機「SLIM」の日本初の月面着陸成功や、国産新型ロケット H3 の打ち上げ成功は大きな話題を呼びました。当社製の薄膜化合物太陽電池が「SLIM」に搭載されていることも誇りであり、無事発電が開始されたとの報告を受けたときの安堵と喜びは、今も鮮明に記憶しております。

昨年 5 月、当社は「強いブランド企業『SHARP』の確立」に向けた中期経営方針を発表し、6 月末には経営体制の見直しを行いました。2024 年度を「構造改革」の 1 年、2025 年度から 2027 年度を「再成長」の 3 年と位置づけ、事業構造の転換と将来の成長を目指しています。

特に、デバイス事業における「アセットライト化」を進めることで、ブランド事業に集中した戦略を展開し、成長領域へのシフトを加速させます。また、新たな産業分野での事業機会獲得にも積極的に取り組む考えです。

2024 年度も、全社一丸となって取り組みを進めてまいりましたが、今年度最重要

課題である「アセットライト化」は概ね最終局面に入っており、年度内の全プロジェクト完遂を目指しています。この取り組みを通じて 2025 年度からの反転攻勢を実現し、次なる成長への足場を固めていく所存です。

業績面では、円安やインフレなど厳しい事業環境が続いていますが、今年度上期に 2 年ぶりの営業黒字転換を果たすことができました。経営改革の成果が着実に表れつつあることに手応えを感じる一方で、慢心することなく、残り 3 ヶ月で構造改革を完遂し、年間目標を達成するべく、全社員一丸で全力を尽くしてまいります。

また、当社を取り巻く社外の評価も変化し始めており、ブランド企業としての成長に期待が寄せられています。これを受け、将来に向けた成長戦略の具体化を進める中で、M&A による事業成長の加速、ブランド投資の強化、独自技術へのさらなる注力を行い、競争力を高めていきます。加えて、昨年 9 月に開催した「SHARP TECH DAY'24」でお披露目した次世代分野への展開、例えば EV、AI、次世代通信、グリーンエネルギー、インダストリー分野などにも積極的に挑戦していきます。

本年 2025 年は、中期3か年計画の初年度であり、再成長への道を本格的に歩み始める年です。「経営理念・経営信条」や「まねされる商品をつくれ」という創業精神に立ち返り、シャープらしさを取り戻し、新たな価値創出に全社一丸となって邁進してまいります。そして、シャープを世界に誇れる企業へと成長させるため、さらなる努力を重ねてまいります。

社友会の皆様におかれましても、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上